

2015 年度 中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	文学部	身分	教授
氏名	鈴木 直志		
NAME	SUZUKI, Tadashi		

1. 研究課題

(和文) 広義の軍事史の総合研究としての連隊史

(英文) 'New Regiment History' of the Old Prussian Army

2. 研究期間

2年間

3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度)

(和文)

本研究は、近世プロイセン (1640-1806) 軍の歩兵第三連隊を対象とした連隊史研究である。連隊史といえばふつう、軍人によって記された当該連隊の沿革や戦闘の記録のことであるが、ここではそれとは異なり、広義の軍事史による総合的な研究という新たな意味を与えている。連隊はいわば一つのミクロコスモスであり、同一の対象に対して政治史、社会史、文化史などによる横断的アプローチが可能だからである。

具体的な考察対象は、ハレ駐屯の歩兵第三連隊に定めた。本研究期間内に二度ほどハレ市の古文書館へ行き、史料調査を行った。そこで得られたもっとも大きな収穫は、1792 年の連隊簿であった。これには、2000 名余りにおよぶ同連隊の全将兵に関する様々な情報がリストの形で収録されており、軍隊の社会史研究にとって非常に有用である。さしあたり兵士 1800 人に関して網羅的な調査をしたところ、身長 of 最重要視、比較的長い勤務年数 (平均 11.1 年) と高い平均年齢 (32.5 歳)、駐屯地域の社会的・経済的特徴の反映といったことが明らかになった。

もとより、この考察結果は兵士のみに関するものであり、将校や下士官など、連隊簿の情報をまだ分析し尽くしているわけではない。また社会史以外の領域、例えば歩兵第三連隊の連隊長職の政治史的考察についても史資料を集め、準備を進めてきたので、これについても追って成果を発表する予定である。

(英文)

This research aims to consider every angle of an infantry regiment of the old prussian army. As a social history of soldiers I made an analysis of the muster roll (1792) of the 3rd Infantry which was stationed in Halle. The results of this analysis are as follows: Special emphasis on body height of soldiers; a relatively long service years; the reflection of social characteristics of garrison town in the regiment.